

東海

2019年度 4号

東海大学山形高等学校 学校報

発行日 2019年12月24日

発行 東海大学山形高等学校

編集 広報委員会

〒990-2339 山形市成沢西 3-4-5

TEL (023) 688-3022

FAX (023) 688-3023

ホームページURL <http://www.ymgt-tokai.ed.jp/>

祝第70回全国高等学校駅伝競走大会出場

2019年12月22日(日)
京都市西京極総合運動公園陸上競技場



男子陸上競技部

清野温留、佐藤 光、大泉真尋、川原正輝、渋江恵和、妻倉惟月、関 碧依、鎌田匠馬、木村快斗、細谷建斗
(3-2 山形一中)(3-4 山形十中)(3-5 大江中)(3-5 神町中)(3-6 山形三中)(3-6 山形四中)(2-8 上山南中)(1-2 山形十中)(1-5 凌南中)(1-5 山形一中)



入試日程

2020年1月18日(土)

推薦入試Ⅰ 学業奨学生入試

2020年1月31日(金)

一般入試

2020年3月19日(木)

推薦入試Ⅱ

修学旅行

11月12日(火)～15日(金)

沖縄コース、広島・関西コース、台湾コース

分散型17年目の今年の修学旅行は、3コースでの実施となりました。それぞれのコースで戦跡を訪れ、戦争経験者の講演に耳を傾けました。戦争の悲惨さを未来に語り継ぐ大切さをかみしめた旅行になりました。

沖縄コース



初日は、沖縄独特の暖かい空気に驚きながら県立博物館を回りました。2日目は山形の塔で千羽鶴の奉納を行い、その後、平和祈念公園や天然洞窟「ガマ」を訪れ、平和ガイドさんより、沖縄戦であったことをお聞きしました。特に、予想以上に狭くて暗いガマの中での暗闇体験に驚きがかったようです。3日目は天気があまり良くなかったものの、楽しみにしていたマリンスポーツを中心に体験学習を満喫できました。仲間たちと共に沖縄の文化を味わい、時間の管理や団体行動の重要性等を認識することができた4日間でした。

広島・関西コース



今年度の「広島・関西コース」は、二つのテーマ「被爆地を訪れ、平和について考える。」「世界遺産に触れ、日本の良さを再認識する。」を掲げ実施しました。

事前学習では、引率教員による「マイフェイバリット京都自主研修」と称して、いろいろな視点で作成したプレゼンテーションから、班別自主研修の予定を作成しました。出発前には、動画「原爆の子の像～6年竹組の仲間たち～」を鑑賞し、平和セレモニーに対する心構えを作りました。全日程天候に恵まれたこともありますが、このように目的を明確にした学習に取り組めたことが、今回の成功に繋がったように思います。

生徒の感想には、「期待していなかった姫路城が、とても美しく、細部まで工夫を凝らした設計に驚きました。感激しました。」「奉納された千羽鶴の再生利用で造られた絵葉書に何とも言えない重みを感じました。一生の宝です。」などとあり、私事旅行では経験できない、修学旅行らしい思い出ができたようでした。





東海大学付属推薦入学 合格発表72名

12月5日(木)に東海大学付属推薦者の合格発表が行われ、翌6日(金)に合格者72名に合格通知が岡田恵子校長より一人ひとりに手渡されました。引き続き、東海大学学長補佐 川上哲太朗先生を講師に迎え、東海大学入学に向けての心得、生活について講話を頂きました。合格者にはこれから、入学手続きのほかに GTEC(CBT)による大学入学後の英語のクラス分けテスト(プレイスメントテスト)や入学前学習(オンライン学習)が課せられており、入学に向けて準備を進めていくことになります。なお、12月21日(土)22日(日)に各キャンパスにて合格者説明会が行われ、そこで各学部ごとにさらに詳しい入学までの準備について説明がなされます。

【合格学部学科一覧】

医学部 医学科	2名	理学部 物理学科	1名
医学部 看護学科	1名	情報理工学部 情報科学科	3名
文学部 文明学科	1名	情報理工学部 コンピュータ応用工学科	3名
文学部 英語文化コミュニケーション学科	1名	工学部 原子力工学科	1名
文化社会学部 ヨーロッパ・アメリカ学科	1名	工学部 材料科学科	2名
文化社会学部 広報メディア学科	3名	工学部 建築学科	4名
政治経済学部 政治学科	7名	工学部 土木工学科	1名
政治経済学部 経済学科	3名	工学部 機械工学科	3名
政治経済学部 経営学科	4名	工学部 動力機械工学科	1名
法学部 法律学科	7名	情報通信学部 通信ネットワーク工学科	1名
教養学部 人間環境学科 自然環境課程	1名	海洋学部 海洋文明学科	2名
教養学部 芸術学科 デザイン学課程	1名	基盤工学部 医療福祉工学科	1名
体育学部 体育学科	2名	国際文化学部 地域創造学科	3名
体育学部 競技スポーツ学科	1名	国際文化学部 国際コミュニケーション学科	2名
体育学部 生涯スポーツ学科	1名	国際文化学部 デザイン文化学科	3名
健康学部 健康マネジメント学科	3名	生物学部 海洋生物科学科	1名
理学部 情報数理学科	1名		

県高校駅伝競走大会 男子優勝！！

第70回全国高等学校駅伝競走大会の予選を兼ねた県高校駅伝競走大会が、10月26日(土)に長井市陸上競技場を発着点で行われ、3年連続17回目の優勝を達成しました。

1区佐藤光君(3-4 山形十中)は、トップから27秒差の4位で襷を渡すと、2区鎌田匠馬君(1-2 山形十中)が3人抜きで一気にトップに出て、3区大泉真尋君(3-5 大江中)が2位との差を1分に広げました。4区の清野温留君(3-2 山形一中)は、きっちりと後半ペースを上げる作戦でリードを守りました。先輩から襷を受けた5区の細谷建斗君(1-5 山形一中)は、区間新記録にあと2秒と迫る好記録で2位に2分近い大差をつける好走を見せ、続く6区の木村快斗君(1-5 陵南中)は、その差をキープしました。アンカーの7区キャプテン川原正輝君(3-5 神町中)は区間1位のハイペースでゴールに飛び込み、大会3連覇を果たしました。

部員全員が最後まで強い気持ちをもって襷を繋いだ最高のレースができたと思います。ご声援ありがとうございました。

男子陸上競技部 川原 正輝(3-5 神町中)

大会当日は、たくさんの声援ありがとうございました。3年連続17回目の優勝を達成することができて大変嬉しく思っています。近年は全国の舞台で全く歯が立たず、苦しい思いをしてきました。今年こそは、全国の舞台に立てる喜びと感謝の気持ちを忘れずに、チーム一丸となって、最高の走りをしたいと思います。応援よろしくお願いします。



県・地区新人大会の活躍

山形県新人大会

柔道部

【男子】

団体

		1位
伊藤大輔 (2-8 御野場中)	西根龍哉 (2-9 御野場中)	早川隼渚 (2-9 千代川中)
小林謙吾 (1-1 山形四中)	小泉 拳 (1-2 金目中)	藤井孝多 (1-5 御野場中)

個人

伊藤大輔 (2-8 御野場中)	60kg級	1位
早川隼渚 (2-9 千代川中)	66kg級	1位
西根龍哉 (2-9 御野場中)	73kg級	1位
小林謙吾 (1-1 山形四中)	73kg級	3位
藤井孝多 (1-5 御野場中)	81kg級	1位
深瀬恒暉 (2-1 山形四中)	81kg級	3位

空手道部

【男子】

個人組手

森 凌太(2-3 日新中) - 61kg級 3位

【女子】

個人形

阿部瑠奈(2-9 天童三中) 1位
東北大会出場

村山地区新人大会

女子バスケットボール部 3位

高橋侑夏 (2-3 高畠中)	沼澤七海 (2-3 赤湯中)	内山美玖 (2-4 高畠中)
加藤麻理亜 (2-4 米沢七中)	黒沼さくら (2-6 神町中)	古城由彩 (2-6 陵南中)
安彦柚葉 (2-8 沖郷中)	岡崎夕夏 (2-8 天童三中)	齋藤 葵 (2-9 陵東中)
佐竹南菜 (2-9 陵南中)	佐藤南知 (1-2 山形十中)	栗田茉弥 (1-3 米沢四中)
笹井望乃 (1-3 市川四中)	鈴木音彩 (1-6 神町中)	横山なみ (1-8 河北中)

近代3種世界選手権大会

第2位 銀メダル獲得

トライアスリMIXリレーとは、2人1チーム(男子1名、女子1名)で射撃(レーザー銃で100mの的あて)→50mスイミング→800mランニングの順番で交代し、一人2セット行い、競い合う種目です。

工藤椰己さん(2-4 大富中)が上記レースに参加しました。レースでは、最初の「射撃」で上位に着くことができ、その後「スイム」で順位をキープし、「ラン」で順位を上げる展開になりました。その結果、銀メダルを取ることができました。

工藤椰己さんのコメント

「レース前はとても緊張し手が震えましたが、最初のレーザーで上位に着くことができたので自信となり、積極的にレースを運べました。3種目の中で射撃が1番難しいのですが、ミスを少なくできただことが今大会の勝因でした。メダルをもらえて嬉しかったです。応援ありがとうございます。」



女子バスケットボール部

山形県高等学校バスケットボール選手権大会

3位

佐藤由己之 (3-6 角館中)	伊藤聖奈 (3-8 米沢一中)	林佑里香 (3-8 米沢一中)
高橋侑夏 (2-3 高畠中)	沼澤七海 (2-3 赤湯中)	内山美玖 (2-4 高畠中)
黒沼さくら (2-6 神町中)	古城由彩 (2-6 陵南中)	安彦柚葉 (2-8 沖郷中)
岡崎夕夏 (2-8 天童三中)	齋藤 葵 (2-9 陵東中)	佐藤南知 (1-2 山形十中)
佐藤南知 (1-2 山形十中)	栗田茉弥 (1-3 米沢四中)	鈴木音彩 (1-6 神町中)
鈴木音彩 (1-6 神町中)	横山なみ (1-8 河北中)	横山なみ (1-8 河北中)

全国高校柔道選手権県予選会

11月23日(土)と24日(日)、山形県体育館にて開催された第42回全国高等学校柔道選手権大会山形県予選会において下記の成績を収めました。

団体

3位

東北大会出場
伊藤大輔 太田光飛 西根龍哉
(2-8 御野場中) (2-8 高畠中) (2-9 御野場中)
早川隼渚 小林謙吾 小泉 拳
(2-9 千代川中) (1-1 山形四中) (1-2 金目中)
藤井孝多
(1-5 御野場中)

個人

伊藤大輔(2-8 御野場中)
60kg級 1位
全国・東北大会出場
早川隼渚(2-9 千代川中)
60kg級 2位
東北大会出場
佐藤 礼(1-7 御野場中)
60kg級 3位
東北大会出場
西根龍哉(2-9 御野場中)
66kg級 1位
全国・東北大会出場
小林謙吾(1-1 山形四中)
73kg級 3位
東北大会出場
深瀬恒暉(2-1 山形四中)
81kg級 3位
東北大会出場
藤井孝多(1-5 御野場中)
81kg級 3位
東北大会出場

山形県高等学校総合文化祭

山形県高等学校 美術展

奨励賞 伊藤 希(1-7 大江中)
審査員推薦 大川 凜華(3-7 上山南中)

第3回 オープンスクールが開催されました

10月20日(日)に第3回オープンスクールを開催しました。1時間目は全体会。学校紹介・入試対策講座・面接対策講座が行われ、中学生は真剣に聞き入っていました。2時間目は授業体験。入試科目の5教科だけではなく、人間力探求科の授業も含めた中から、1つを選んで参加してもらいました。3時間目は部活動体験。夏のオープンスクール(部活動体験)に参加できなかった人は、部活動の雰囲気を味わえたと思います。今年も多くの中学生と保護者の皆さんのが参加してくださいり、大変盛況でした。



生徒会選挙・第2回生徒総会

生徒会新役員を決める選挙が10月8日(火)に行われ、下記の生徒が選ばれました。

会長	高橋 快成	(2-2 天童一中)
副会長	田中 笑梨	(2-3 山形四中)
副会長	佐々木陽弥	(1-1 神町中)
議長	阿部みのり	(2-1 山形十中)
副議長	吉田あいな	(1-1 山形六中)

選挙より2ヶ月という十分な準備期間を経て、11月30日(土)に生徒会総会が開催されました。旧会長・委員長より1年間の総括が語られ、新執行部・新委員長より来年度の目標・活動計画が提案され討議されました。また、新年度のスローガンは生徒会委活動や学校生活の進歩を願って『革命』が提案され、可決しました。今年度は春に行ったアンケートで出た要望をもとに、2月の協議会に提出する要望書原案について討議されました。2回目のアンケート、クラス討議を経て決定した要望は21項目に上るものでした。寒い中の総会でしたが、執行部のリーダーシップのもと円滑に討議が進みました。



震災復興支援ボランティア

今年の被災地支援ボランティアは、11月2日(土)、16日(土)の2回にわたって石巻市に行きました。今年も全校生に呼び掛けを行い、44名の参加者を得ました。今年は被災地の産業復興支援の目的で毎年行っているホヤの稚床作りのほか、台風19号の復旧支援も行いました。石巻市は地盤沈下のため排水困難となり1万戸が浸水被害を受けた地域で、水害の恐ろしさと、先輩たちが震災当時行ってきた活動をしのぶことも視野に入れて活動しました。側溝掃除を行った家庭は津波の被災者で、移り住んだ地域のつながりが薄いこともあって土砂災害で困っている方でした。二度も自然災害を受けた被災者の声を聴きながら、震災後8年が経過した今、私たちに何ができるかをあらためて考えさせられたボランティア活動でした。



いも煮会

10月15日(火)、3年生のいも煮会が実施されました。手慣れた手つきでいも煮をつくり、山形の秋の風物詩を満喫しました。

続いて10月29日(火)に1年生が行いました。天気が悪い中でしたが、須川河川敷公園で、クラス毎にまとまっておいしいいも煮を頬張りました。



3学年 10/15(火)

1学年 10/29(火)

11月2日(土) 石巻市牡鹿半島・河北地区 35名参加
11月16日(土) 石巻市牡鹿半島 9名参加

創立記念式典が挙行されました

10月5日(土)、創立63周年を祝う記念式典が挙行されました。吉村理事長式辞、岡田校長挨拶に続いて、教職員の永年勤続表彰が行われました。式典のあとは、(株)テレコム・アニメーションフィルム代表取締役社長の淨園祐さんと、(株)トムス・エンタテインメントデジタル推進室長の伊東耕平さんによる記念講演がありました。お二人は、2020年4月から人間力探求科の選択授業で新しく始まる科目「アニメーション」のカリキュラム監修と教材提供にご協力をいただいている方です。「アニメーションは人と心を動かす」と題した60分間の講演で、日本におけるアニメーションの位置づけや、アニメーション業界の現状など、お話をいただきました。制作に携わっているスタッフの熱い思いが伝わってきました。



PTA環境部花壇とプランター整理

環境部長 東海林緑



今年は6月16日(日)と10月22日(即位の礼お祝いの日 火)に行われました。参加した保護者と教職員とで「花のひこうき」の戎野さんから植え替えの方法を教えていただきました。

プランターに石を敷き、半分くらい土を入れたらポットを並べて花の配置を決めます。色のバランスや配置はセンスが問われる作業です。ポットから苗を取り出し、植える前に根本の土を指でくるりと1周なでて土を落とします。これで害虫も一緒に落ちます。

新しい根が伸びてくるように、根を3カ所つまんでおきます。苗を置いて土をかけたら、最後にプランターを持ち上げ、底の四隅を軽く地面に当てる中で土をならします。ドンドンと底全体を地面に打ちつけると苗が浮いてしまうので注意しましょう。

後は水かけですが、じょうろの口は下向きにしてプランターの縁を1周させ、次にクロスするようにかけて、水の通り道をつくります。これで次回からは気にせずに水をかけても大丈夫です。

皆さんも参考にしてみてください。2回とも和やかな雰囲気で、楽しく作業することができました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

PTA研修旅行

文化部長 土屋咲枝

10月6日(日)に、PTA研修旅行へ行ってきました。今年の目的地は、4月に上山IC-南陽高畠ICが開通し、近くになった福島県浜通り地方のいわき市。当日はあいにくの曇り空。最初の到着地白水阿弥陀堂に到着した時には、雨に変わっていました。雨の中にシンと佇む国宝白水阿弥陀堂は、背後にある山々と色づき始めた木々の中にあり、厳かな雰囲気の中で拝観しました。次の石灰・化石館では、受付後に現れたクジラや恐竜等の化石展示に、思わず少年の頃に戻るお父さんが続出。併設されている炭鉱の模擬坑道には、豊坑エレベーターで地下600mに降りる雰囲気を味わいながら入坑しました。実際と同じ鉄が作られた坑道内で、当時の技術や生活の様子を知ることができました。坑道から出ると雨は上がり、お腹が空いた一行は、昼食へ。昼食は、いわきら・ら・ミュウで海鮮バーべキュー。新鮮な魚介の焼きたてを美味しくいただいた後は、お買い物。ズラリと並んだ鮮魚店でお目当てのものを箱買いする方、佃煮屋さんで見をする方等、各々が楽しみました。

PTA研修旅行は、保護者同士の交流、保護者と先生方の交流、さらに東日本大震災からの復興支援を目的的に行ってています。東日本大震災から8年。実際に足を運び、その土地を見て感じ、その土地のものを購入することで復興支援を行おうという取り組みです。この趣旨に賛同し、旅行に参加いただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。旅行中は、皆さん和気あいあいと楽しんでいただけたと感じています。保護者の皆さん、来年も研修旅行へのご参加をお待ちしています。



第35回 同窓会総会

11月9日(土)に山形市内の国際ホテルにおいて、35回目となる同窓会総会が開かれました。2018年度の事業と決算、および2019年度の事業と予算が原案通りに承認されました。

総会後の懇親会では、平成2年、12年、22年、29年の卒業生を中心として行われました。やや少ない参加人数とはなりましたが、卒業生でもあるムーンサルト小林さんをゲストに迎え、物まねなどのパフォーマンスで大いに盛り上がりました。

今年も無事に総会懇親会を終えることができました。実行委員・同窓会役員の皆様方のご尽力に、深く感謝いたします。



市民講座

市民講座開催報告

第2回 10月5日(土) 講師 浄園祐氏 「アニメーションは人と心を動かす」

10月5日(土)、「アニメーションは人と心を動かす」という演題の下、今年度2つ目の市民講座が開催されました。当日、本校の第63周年記念式典が挙行され、その記念講演を兼ねる形での講座でもありました。

次年度から始動する「アニメーション」の授業(総合学習コース・人間力探究科)の立ち上げや運営に大きく関わっていただいている株式会社テレコム・アニメーションフィルム代表取締役社長の浄園祐氏と株式会社トムス・エンタテイメントデジタル推進室長の伊東耕平氏をお招きし、スライドを駆使しながら、クロストークという形態での講座となりました。

監督やプロデューサーを筆頭に大勢の人が関わり、一人ひとりの情熱が映像という結晶となり、我々の元に届けられるのが「アニメーション作品」であることや、作品を制作するにあたり貫かれるコンセプトは、日本チームの得意とする「400メートルリレー走」のバトンパスのごとく繋がれることを熱く語っていただいたように感じました。

一つの作品に込められた様々な側面を垣間見る術を学び、アニメーションに対する憧憬がますます高まりました。



第3回 11月16日(土) 講師 本校情報管理室 パソコン教室～Word2016で年賀状にチャンジ!!～

「学校の持つ力を、社会に・地元に還元することが学校の使命である」という標榜の下、本校「市民講座」は産声をあげました。2004年、蔵王第一学区青少年健全育成連絡協議会との共同事業として、このパソコン講座は開講し、今回で15回目を数えました。

校長先生と河内勇様(蔵王第一学区青少年健全育成連絡協議会副会長)にご挨拶をいただき、早速、年賀状作りが始まりました。

大変便利なツールのコンピューターですが、思い通りに行かない場面に遭遇しようものなら、それ自体がパニックとなってしまいます。そこは、東海大山形の選りすぐりの講師陣。受講者の手が止まると、直ぐにその場に駆け付け、受講者の頭の中にあるイメージが、忠実に画面上に再現されました。校長先生が受講者のサポートに関わってくださった場面もあり、参加者は和やかで楽しい時間を過ごされたと思います。

試し刷り用のハガキが印刷されると、思わずニンマリ。デジタルデータを家庭に持ち帰り、一足早く、年越しに向けての準備が一つ完了しました。



12月

- | | | |
|--------|------|-------------------|
| 22日(日) | 冬期休業 | (～1/6月) |
| | 冬期講習 | (～26木) (総合進学1・2年) |
| | 冬期講習 | (～27金) (特進1～3年) |
| 28日(土) | 学校閉鎖 | (～1/3金) |

1月

- | | | |
|--------|---|--------------|
| 4日(土) | 冬期講習 | (～6月) (特進3年) |
| 7日(火) | ①身だしなみ点検、②全校集会
(1・2年)③～⑤課題テスト、⑥LHR
(3年)③～⑤授業、⑥LHR | |
| 9日(木) | 月曜日授業
就職ガイダンス (2年) | |
| 14日(火) | 大学入試センター試験激励会 (特進)
公務員講座 | |
| 15日(水) | 生徒会各種委員会 | |
| 17日(金) | 3時間授業 (金曜日④⑤⑥)
午後 入試準備 | |

18日(土)

入学試験 (推薦入試Ⅰ、学業奨学生入試)

大学入試センター試験 (～19日)

アンサンブルコンテスト県大会 (～19日)

19日(日) 生徒休業 (生徒校地内立ち入り禁止)

20日(月) 生徒休業 (生徒校地内立ち入り禁止)

21日(火) 振替休日

22日(水) 3時間授業 (木曜日④⑤⑥)

後期期末試験 (3年) (～25日 土)

合格発表

23日(木) 水曜日授業

公務員講座

25日(土) 授業日 (月④⑤⑥⑦)

専門学校ガイダンス (2年)

28日(火) 答案返却 (3年)

30日(木) 3時間授業 (木曜日①②③)

午後 入試準備

31日(金) 入学試験 (一般入試)

ベストティーチャー (櫻井 孝司先生)

櫻井 孝司(さくらい こうじ) 第3学年主任 女子バレー部顧問

山形大学農学部林学科（現生物環境学科）卒業

中学・高校は野球部に所属し、高校3年次は主将を務める。大学からバレー部に所属し、4年次に主将を務める。平成元年3月に大学を卒業し、4月から本校に着任した。今年度は、第3学年主任として、生徒と真正面から向き合う熱血教師として現在に至る。



—教員を目指したきっかけは何ですか？

私が学生だった頃は、それぞれがもつ「個性」を受け止めてもらえず、画一的な指導を受けるような時代でした。やりたいと思うことができないという理不尽な思いをしてきた経験から、子どもたちにそのような思いをさせたくないと考えるようになり、教師を目指すことも視野に入れるようになりました。大学時代は、教員免許取得のために教職の授業も履修したほかに、資格取得にも力を入れ、測量士や危険物取扱責任者の資格も取得しました。

—教師になって感じたことはありますか？

まず3年間は続けてみようという気持ちでいました。最初の2年間は担任を持ちませんでしたが、3年目に担任を持ち、生徒を置き去りにして辞められないと思うようになりました。教師は、担任を持って成長していくのだと感じた1年でした。

—担任の立場の時には、クラスにはどのように成長してほしいと考えていましたか？

若い時は、「だまって俺についてこい。」というスタイルで、ガンガン指導していました。集団で生活するときに、個人の意見を尊重しすぎると集団が成り立た

なくなってしまいます。クラス経営では、個人よりも集団を大切にしてきました。集団を指揮する人間が「ダメだ」と言ったことは、守らなければならないという形の指導をしてきました。今も考え方は大きく変わっていません。

—学年主任という立場で3年経ちましたが、担任の時と違いますか？

クラス担任と同じような感覚でいます。300人のクラスのようなイメージで指導に当たっています。3学年の先生方には、他人の批判をしないこと、やるべきは全員でやること、弱い立場の人を守る指導をすることを伝えました。私は、担任が働きやすい環境を整えることを意識していました。

—部活動に対してどのように考えていますか？

部活動を通じた人間形成を意識しています。部活動で言われてきた挨拶や振る舞いが、日常に活かされないと意味がないと思います。社会に出る準備の一つだと考えています。競技としては、3年間きちんと続ける強い覚悟を持ってほしいと思います。

—先生が意識していることはありますか？

時間厳守です。スタートをきちんとさせることに全神経を注いでいます。始業や試合開始時間に合わせて、何時に支度やアップを始めるなどを考えることができます。なるためにも、意識させています。

—卒業学年の主任として生徒にメッセージをお願いします。

社会に出た時に、自分の思い通りにならない事が多くあります。それを当たり前だと思って生活していく必要があります。その社会の中で、学んだことを活かして力を発揮してください。

東海大学学生・東海大山形高卒業生キャリア支援 第6回 やまがた就職 合同個別相談会

対象学生 大学3年生及び大学院修士1年生

2020年3月7日(土)
受付 12:00 13:30~16:30

県内に就職を希望する学生を対象に県内企業による会社説明会を企画しました。
本校卒業の大学生すべてを対象にします。東海大学や本校OB関連の企業も参加します。

編集後記

12月に入り、寒さが一段と厳しくなったように感じます。周囲の山々が雪化粧をし始めたと思ったら、あっという間に里にも雪がちらついてきました。年の瀬は今年も男子陸上競技部が都大路を走ります。年明けには大学入試センター試験があります。それぞれの全国大会はもうすぐです。この舞台で戦うために積み重ねてきたものを、存分に発揮して欲しいと思います。